

平成27年2月16日

## 第7回 香川大学危機管理シンポジウムの開催 「大規模災害に備えた防災意識の向上を目指して」

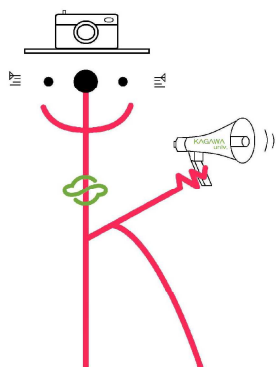
「香川大学危機管理研究センター」では、平成20年度より地域の防災・減災の在り方について考えるシンポジウムを開催しており、今年で第7回目を迎えます。今回は、「大規模災害に備えた防災意識の向上を目指して」をテーマに開催いたします。

第1部にて本学危機管理研究センターの平成26年度活動報告を行い、第2部では「防災教育による減災効果」と題して、鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授 阪根健二氏の基調講演、第3部では「防災教育が命を守る～避難行動に繋がる防災教育とは～」をテーマにパネルディスカッションを行います。

多発している大規模水害や、将来発生が予想される南海トラフ巨大地震への備えとして、行政機関、教育機関、民間組織それぞれの立場から、防災意識の向上の取り組みについてご紹介いただくとともに、防災教育が命を守るとの観点から防災・減災対策について、会場にお越しの皆様とともに意見交換を行います。

入場は無料となっておりますので、是非ご参加下さい。

1. 日 時 平成27年2月26日（木）11:30～17:00（開場 11:00）
2. 会 場 サポートホール高松 5F 第2小ホール（高松市サポート2-1）
3. 入 場 料 無 料
4. 主 催 香川大学危機管理研究センター
5. 共 催 （公社）土木学会四国支部香川地区、土木学会安全問題研究委員会
6. 後 援 国土交通省四国地方整備局、香川県、高松市、（公社）日本技術士会四国本部、香川県防災士会、かがわ自主ぼう連絡協議会、NPO法人災害に強いまちづくり研究会、四国4大学防災関連研究センター連携協議会、NHK高松放送局、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、四国新聞社



➤ お問い合わせ先  
香川大学 危機管理研究センター  
TEL : 087-864-2544 (FAX 兼)  
E-mail : kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp  
HP : <http://www.kagawa-u.ac.jp/csmrc/>

大規模災害に備えた  
防災意識の向上を目指して  
防災教育が命を守る

# 第7回 香川大学 危機管理シンポジウム

2015年2月26日(木) 11:30~17:00 (開場 11:00) サポートホール高松 5F 第2小ホール

## 第I部

### ■地域報告会・活動報告(11:30~12:30)

#### 1) 危機管理研究センター平成26年度事業報告

白木 渡 センター長(工学部教授)

「地域継続マネジメント(DCM)推進室」

- 香川地域継続検討協議会活動状況
- 防災・危機管理教育研究拠点形成状況  
(防災危機管理教育研修システムの開発/運用状況:PV)
- 九州・中国・四国防災研究センター連携協議会活動など
- 香川大学事業継続管理シンポジウム
- 香川地域継続首長会議設置について

「四国防災・危機管理特別プログラム共同開設による専門家の養成」  
などについて報告

#### 2) 香川大学における防災士養成講座と防災士取得後の教育体制

長谷川 修一(工学部教授)

#### 3) 学校・市民防災教育への支援活動紹介

- 香川県教育委員会の学校防災アドバイザー派遣事業報告
- 前田校区自治会まち歩き防災マップ作成支援  
野々村 敦子(工学部准教授)

### ■開会挨拶

#### 主催者挨拶(13:30~13:35)

早川 茂 (香川大学理事)

#### 来賓挨拶(13:35~13:50)

三浦 真紀 氏 国土交通省四国地方整備局長  
泉川 雅俊 氏 香川県危機管理総局長  
岡本 英彦 氏 高松市総務局長

## 第II部

### 基調講演(14:00~15:00)

#### 演題「(仮)防災教育による減災効果」

鳴門教育大学 大学院 学校教育研究科 教授 阪根 健二氏

防災教育による災害心理を取り入れた先進的な取り組みについてご講演をさせていただきます。特に災害発生時は、地域住民による迅速な避難行動が最も大切であり、それと地域や行政がうまく協働すること、さらにそうした行動を速やかに起こさせるため、平常時からの防災教育について幅広い視点からご講演していただきます。

## 第III部

### パネルディスカッション(15:10~16:50)

#### 「防災教育が命を守る ~ 避難行動に繋がる防災教育とは ~」

コーディネーター	岩原 廣彦 (副センター長 客員教授)
アドバイザー	阪根 健二氏 (鳴門教育大学 大学院 教授)
パネリスト	河西 洋一氏 (高松市総務局次長)
	高木 成明氏 (香川県教育委員会事務局保健体育課主任指導主事)
	中村 隆氏 (高松市自主防災組織連絡協議会会長)
	井面 仁志氏 (香川大学工学部教授)

近年多発している大規模水害や、将来発生が予想される南海トラフ巨大地震への備えとして、行政機関、教育機関、民間組織それぞれの立場から、防災意識の向上の取り組みについてお話をうかがいます。

次に、防災教育が命を守るとの観点からそれぞれの立場で、今後、それぞれの立場で何をどのようにしていかなければならないかについて意見交換を行います。最後に、アドバイザーの阪根先生のコメントなどを踏まえたディスカッションのとりまとめを行います。

### ■開会挨拶(16:50~16:55)

白木 渡 センター長(工学部教授)

主催 / 香川大学危機管理研究センター

共催 / (公社)土木学会四国支部香川地区、土木学会安全問題研究委員会

後援 / 国土交通省四国地方整備局、香川県、高松市、(公社)日本技術士会四国本部、香川県防災士会、かがわ自主ぼう連絡協議会、NPO法人災害に強いまちづくり研究会、四国4大学防災関連研究センター連携協議会、NHK高松放送局、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、四国新聞社

土木学会継続教育(CPD)プログラム認定(予定)

# 第7回 香川大学

# 危機管理シンポジウム

## 第I部

### ■地域報告会・活動報告(11:30~12:30)

#### 1) 危機管理研究センター平成26年度事業報告

白木 渡 センター長(工学部教授)

#### 「地域継続マネジメント(DCM)推進室」

- 香川地域継続検討協議会活動状況
- 防災・危機管理教育研究拠点形成状況  
(防災危機管理教育研修システムの開発/運用状況:PV)

- 九州・中国・四国防災研究センター連携協議会活動など
- 香川大学事業継続管理シンポジウム
- 香川地域継続首長会議設置について

#### 「四国防災・危機管理特別プログラム共同開設による専門家の養成」 などについて報告

#### 2) 香川大学における防災士養成講座と防災士取得後の教育体制

長谷川 修一(工学部教授)

#### 3) 学校・市民防災教育への支援活動紹介

- 香川県教育委員会の学校防災アドバイザー派遣事業報告
- 前田校区自治会まち歩き防災マップ作成支援

野々村 敦子(工学部准教授)

## ■開会挨拶

### 主催者挨拶(13:30~13:35)

早川 茂 (香川大学理事)

### 来賓挨拶(13:35~13:50)

三浦 真紀 氏 国土交通省四国地方整備局長

泉川 雅俊 氏 香川県危機管理総局長

岡本 英彦 氏 高松市総務局長

## 第II部 基調講演(14:00~15:00)

### 演題 「(仮)防災教育による減災効果」

鳴門教育大学 大学院 学校教育研究科 教授 阪根 健二氏

## 第III部 パネルディスカッション(15:10~16:50)

### 「防災教育が命を守る ~ 避難行動に繋がる防災教育とは ~」

コーディネーター 岩原 廣彦 (副センター長 客員教授)

アドバイザー 阪根 健二氏 (鳴門教育大学 大学院 教授)

パネリスト 河西 洋一氏 (高松市総務局次長)

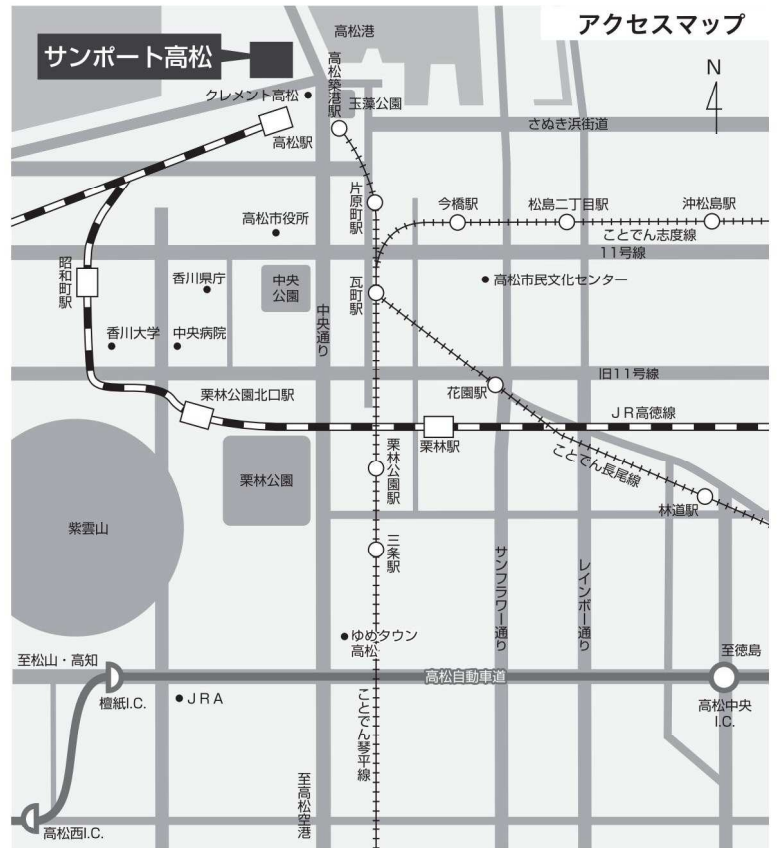
高木 成明氏 (香川県教育委員会事務局保健体育課主任指導主事)

中村 隆氏 (高松市自主防災組織連絡協議会会長)

井面 仁志氏 (香川大学工学部教授)

## ■開会挨拶(16:50~16:55)

白木 渡 センター長(工学部教授)



[交通アクセス] ●JR高松駅……………サンポート高松内

●ことடன்高松築港駅 ……徒歩2分

●高松港……………サンポート高松内

●高松中央I.C. ……車で約20分

●高松西I.C. ……車で約20分

●高松空港……………ことடன்高松空港連絡リムジンバス  
JR高松駅行き約40分

[駐車場] ●サンポート高松地下駐車場(有料)

## シンポジウム参加申込書

お申し込みの際は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FaxまたはE-mailにてご連絡くださいますようお願いいたします。  
ご記入いただく個人情報につきましては、今回のセミナーでのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

ご所属	ご芳名	電話番号	E-mail
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

〆切 2月16日(水) ※当日参加も可能です。

お問い合わせ 香川大学危機管理研究センター

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

TEL 087-864-2544

FAX 087-864-2549

E-mail kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp



### 香川大学キャラクター

細い線で「K」をモチーフにした動物(人)を描いています。「夢・個性」の発見に向けて、人一倍の「嗅覚(アンテナ)」を磨き生かし、知識、探究、思考、発想、実行を重ねながら、筋肉を身につけて魅力的な人となり社会に巣立つことをイメージしております。